

五 資源調查法關係

## 資 源 調 査 法

(昭和四年四月十二日  
法律第五十  
三號)

第一條 政府ハ人的物的資源ノ調査ノ爲必要アルトキハ個人又ハ法人ニ對シ之ニ關スル報告又ハ實地申告ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ資源調査ノ範圍、方法其ノ他必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 當該官吏又ハ吏員ハ人的及物的資源ノ統制運用計畫ノ設定及遂行ニ必要ナル資源調査ノ爲必要ナル場所ニ立入り、検査ヲ爲シ、調査資料ノ提供ヲ求メ又ハ關係者ニ對シ質問ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニハ其ノ證票ヲ携帶スベシ

第三條 工業的發明ニ係リ其ノ他特殊ナル業務上ノ秘密ニ屬スル事項又ハ設備ニシテ命令ニ定ムモノニ付テハ第一條ノ報告若ハ實地申告ヲ命ジ又ハ前條ノ規定ニ依リ検査ヲ爲シ調査資料ノ提供ヲ求メ若ハ關係者ニ對シ質問ヲ爲スコトヲ得ズ

第四條 第一條ノ規定ニ依リ報告又ハ實地申告ヲ命ゼラレタル者營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セザル未成年者若ハ禁治產者ナル場合又ハ法人ナル場合ニハ其ノ法定代理人又ハ理事、業務ヲ執行スル社員、會社ヲ代表スル社員、取締役、業務擔當社員其ノ他法令ノ規定ニ

依リ法人ヲ代表スル者ニ於テ報告又ハ實地申告ヲ爲スノ義務ヲ有ス

第五條 第一條ノ規定ニ依リ命ゼラレタル報告若ハ實地申告ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ報告若ハ實地申告ヲ爲シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六條 第二條ノ規定ニ依ル當該官吏又ハ吏員ノ職務執行ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ、調査資料ノ提供ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ調査資料ヲ提供シ又ハ質問ニ對シ虛偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七條 當該官吏若ハ吏員又ハ其ノ職ニ在リタル者本法ニ依ル職務執行ニ關シ知得シタル個人又ハ法人ノ業務上ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス當該官吏又ハ吏員第三條ノ規定ニ違反シタルトキ亦同ジ

職務上前項ノ秘密ヲ知得シタル他ノ公務員又ハ公務員タリシ者其ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキ亦前項ニ同ジ

#### 附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(昭和四年勅令第三百二十六號ヲ以テ昭和四年十二月一日ヨリ施行)

### 資 源 調 査 令 (昭和四年十一月二十日勅令第三百二十九號)

改正 昭和五年第二百二十四號 昭和九年第三百九十五號 昭和十一年第六十九號第三百十八號 昭和十二年第三百三十三號 第三百九十六號 第六百八十五號 昭和十三年第五十號 昭和十四年第七百八十三號 昭和十五年第九百五號 昭和十六年第一百十六號 昭和十七年七百八十一號

#### 第一條 内閣總理大臣ハ資源調査法ノ施行ヲ統轄ス

第二條 各省大臣資源調査法第一條第二項ノ命令ヲ發セントスルトキハ内閣總理大臣ニ協議スベシ

第三條 各省大臣ハ別表ノ定ムル所ニ依リ定期ニ人的及物的資源ノ統制運用計畫ノ設定及遂行ニ必要ナル資源調査ヲ行ヒ内閣總理大臣ニ報告スベシ

第四條 各省大臣前條ノ資源調査ヲ行フニ付必要アリト認ムルトキハ關係各廳ニ對シ調査報告ヲ求ムルコトヲ得

第五條 各省大臣第三條ノ資源調査ヲ行フニ付第二條ノ規定ニ依ル命令ニ依ラズシテ必要ナル資料ヲ整備セントスルトキハ内閣總理大臣ニ協議スベシ

第五條ノ二 地方長官資源調査法第一條ノ規定ニ依ル命令ヲ發セントスルトキハ主務大臣ノ承

認ヲ受クルコトヲ要ス

主務大臣前項ノ認承ヲ與ヘタルトキハ内閣總理大臣ニ其ノ旨ヲ通知スベシ

第六條 内閣總理大臣人的及物的資源ノ統制運用計畫ノ設定及遂行ニ付必要アリト認ムルトキ  
ハ臨時ニ關係各廳ニ對シ資源ノ調査報告ヲ求ムルコトヲ得

第三條ニ規定スルモノニ關シ前項ノ調査報告ヲ求ムル場合ニ於テハ之ニ關スル同條ノ調査報  
告ヲ省略セシムルコトヲ得

第七條 資源調査法第二條ノ證票ハ別記様式ニ依リ企畫院ニ於テ之ヲ交付ス

第八條 工業的發明ニ係リ其ノ他特殊ナル業務上ノ秘密ニ屬スル事項又ハ設備ニシテ資源調査  
法第三條ノ規定ノ適用ヲ受クベキモノニ付テハ主務大臣之ヲ指定ス

主務大臣前項ノ指定ヲ爲サントスルトキハ内閣總理大臣ニ協議スベシ

第九條 主務大臣資源調査法第一條ノ規定ニ依リ資源調査ヲ行フニ付必要アリト認ムルトキハ  
命令ノ定ムル所ニ依リ市長、市制第六條及第八十二條第三項ノ市ノ區長若ハ町村長又ハ之ニ  
準ズベキモノヲシテ調査上必要ナル事務ヲ行ハシムルコトヲ得

第九條ノ二 資源調査ノ爲特ニ必要ナルトキハ市、市制第六條及第八十二條第三項ノ市ノ區若  
ハ町村又ハ之ニ準ズベキモノニ資源調査員ヲ置クコトヲ得

資源調査員ハ名譽職トシ主務大臣、地方長官又ハ市區町村長ノ指揮監督ヲ受ケ資源調査ノ調  
査票用紙ノ配布調査票ノ蒐集其ノ他之ニ關連スル事務ニ從事ス

第九條ノ三 前條第三項中市區町村長トアルハ醫藥品其ノ他ノ衛生用物資ニ付テハ警察署署長  
(臺灣ニ在リテハ郡守、支廳長又ハ警察署長、南洋群島ニ在リテハ支廳長)トス

第十條 本令中各省大臣又ハ主務大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣  
總督、關東州ニ在リテハ滿洲國駐劄特命全權大使、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ  
在リテハ南洋廳長官之ヲ行フ

本令中地方長官ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在  
リテハ樺太廳長官、南洋廳ニ在リテハ南洋廳長官之ヲ行フ

第九條ノ二ニ規定スル地方長官ノ職務ハ關東州ニ在リテハ關東州廳長官之ヲ行フ

第十一條 資源調査員又ハ其ノ職ニ在リタル者其ノ職務ノ執行ニ關シ知得シタル個人又ハ法人  
ノ業務上ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

## 附 則

本令ハ昭和四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス  
軍需調査令ハ之ヲ廢止ス

(別表略)

## 勞務動態調査規則

(昭和十四年十一月二十八日)  
厚生省令第三十八號

改正 昭和十五年六月十四日 厚生省令第二十六號(い)、昭和十六年二月一日 厚生省令第一號(ろ)

## 勞務動態調査規則

第一條 當時勞務者ヲ雇傭スル者(以下雇傭主ト稱ス)ハ勞務者使用ノ場所毎ニ毎年二回三月及九月各月末現在ヲ以テ勞務者ノ雇入、解雇、雇入豫定數ノ他勞務動態ニ關スル事項ニ付勞務者使用ノ場所ヲ管轄スル地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下同ジ)ニ報告ヲ爲スベシ(い)(は)

第二條 前條ノ報告ハ別表様式ニ依ル勞務動態調査票用紙ニ依リ正副二通各翌月十日迄ニ勞務者使用ノ場所ヲ管轄スル市町村長ヲ經由シテ之ヲ爲スベシ

第三條 交通至難ノ地ニ勞務者使用ノ場所ヲ有スル者ニ付テハ地方長官ハ前條ノ報告期限ニ付別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第四條 天災事變其ノ他已ムヲ得ザル事故アルトキハ地方長官ハ區域ヲ限リ前二條ニ依ル報告期限ヲ延長スルコトヲ得

第五條 市町村長ハ豫メ勞務動態調査票用紙ヲ當該市町村内ニ勞務者使用ノ場所ヲ有スル雇傭

主ニ交付スベシ。

雇傭主前項ノ用紙ノ交付ヲ受ケザルトキハ勞務者使用ノ場所ヲ管轄スル市町村長ニ其ノ旨申出デ之ガ交付ヲ受クベシ。

第六條 市町村長ヘ報告期限迄ニ勞務動態調査票ヲ取纏メ報告期限後十日以内（地方長官ノ指定スル市町村ニ在リテハ十五日以内）ニ之ヲ當該市町村ヲ管轄スル國民職業指導所長ニ提出スペシ（ろ）

第七條 國民職業指導所長勞務動態調査票ノ提出ヲ受ケタルトキハ之ヲ審査シ五日以内ニ正票ヲ地方長官ニ提出スペシ（ろ）

第八條 地方長官ヘ勞務動態調査票ヲ集計シ厚生大臣ニ報告スベシ

第九條 厚生大臣特ニ必要アリト認ムルトキハ第一條ノ規定ニ依ル報告ノ外全部又ハ一部ノ雇傭主ニ對シ勞務者ノ全部又ハ一部ニ付勞務動態ニ關スル報告ヲ命ズル事アルベシ

第十條 市町村ノ區域ニ勞務動態調査員ヲ置ク

勞務動態調査員ハ市町村長ノ指揮監督ヲ受ケ調査票ノ配付及蒐集ニ從事ス

第十一條 勞務動態調査員ヘ地方長官之ヲ命免ス

勞務動態調査員ハ名譽職トス

第十二條 本則ハ市町村ニ於テ吏員ヲ使用スル場合ニ之ヲ準用ス

第十三條 本則ハ國又ハ道府縣ニハ之ヲ適用セズ

第十四條 本則ハ左ノ各號ノニ該當スル者ノ雇傭ニ付テハ之ヲ適用セズ

一 船員法ノ船員

二 醫師、齒科醫師、藥劑師

三 獣醫師

四 年齢十二年末滿又ハ六十年以上ノ者

五年俸又ハ月俸ヲ受ケ其ノ月額百圓ヲ超ユル事務從事者

六 其ノ他厚生大臣ノ指定スル者

第十五條 雇傭主自ラ勞務者使用ノ場所ノ管理ヲ爲サマルトキハ事實上之ヲ管理スル者ヲ以テ本則ノ雇傭主ト看做ス

第十六條 左ノ各號ノニ該當スルトキハ雇傭主ノ事務所ヲ以テ本則ノ勞務者使用ノ場所ト看做ス

一 雇傭主勞務供給業者ナルトキ

- 二 勞務者ノ使用ノ場所一定セザルトキ  
三 勞務者ヲ當時船舶内ニ於テ使用スルトキ  
雇傭主同一勞務者ヲ二以上ノ場所ニ於テ使用スルトキヘ主タル使用ノ場所ヲ以テ本則ノ勞務者使用ノ場所ト看做ス

**第十七條** 昴村等の旅行セサル地ニ在リテノ本則中昂村三人昂村長ニ關スル人夫婦人昂村ニ登ベキモノ又ハ昂村長ニ準ズベキモノニ之ヲ適用ス

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則（昭和十六年厚生省令第二十六號）

第一條ノ規定ニ依リ九月三日現在ヲ以テ爲スベキ報告ハ本年ニ限リ第一條ノ規定ニ拘ラズ十一

附 則（昭和十七年厚生省）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

# 労務動態調査事務取扱規程

(昭和十四年十一月三十日 厚生省訓令第十六號)

改正 昭和十五年六月十四日 厚生省訓令第七號

## 第一章 総 則

第一條 労務動態調査ニ關スル事務ニ從事スル職員ハ労務動態調査ニ關スル法令、通牒等ニ通曉シ調査ノ的確迅速ナルヲ期スベシ

第二條 職員ハ労務動態調査ノ趣旨ノ徹底ヲ圖リ調査ノ完璧ヲ期スベシ

第三條 職員ハ雇傭主其ノ他ノ者ニ對シテハ特ニ懇切ヲ旨トスベシ

第四條 職員ハ調査事務ニ付知リ得タル事項ヲ他ニ漏洩スベカラズ

労務動態調査票(以下調査票ト稱ス)其ノ他調査ニ關スル書類ハ秘ノ扱ト爲シ之ヲ嚴重ニ保管スベシ

## 第二章 報告期限ノ變更又ハ延長

第五條 地方長官労務動態調査規則(以下規則ト稱ス)第三條ノ規定ニ依リ報告期限ニ付別段ノ定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨厚生大臣ニ報告スベシ

第六條 地方長官規則第四條ノ規定ニ依リ報告期限ヲ延長シタルトキハ直ニ其ノ旨厚生大臣ニ報告スベシ

## 第三章 労務動態調査員ノ選任及指導

第七條 労務動態調査員(以下調査員ト稱ス)ハ規則第十一條第一項ノ規定ニ依リ地方長官ニ於テ適當ト認メラル者ノ中ヨリ市町村ノ區域毎ニ之ヲ選任スベシ

第八條 調査員ノ任命アリタルトキハ市町村長ハ直ニ各調査員ノ擔當區域ヲ定メ其ノ旨本人ニ通知スベシ擔當區域ノ變更ヲ爲シタルトキ亦同ジ

第九條 市町村長ハ調査員ニ對シ其ノ擔當區域内ニ於テ職務執行上必要ナル事項ニ付詳知スル様指導スベシ

第十條 市町村長ハ適當ノ時期ニ於テ調査員ヲ招集シ調査事務ノ打合又ハ協議ヲ爲スベシ

## 第四章 調査票用紙ノ交付

第十一條 地方長官ハ調査期日ノ二十日前迄ニ調査票用紙ヲ市町村長ニ交付スベシ

第十二條 市町村長調査票用紙ノ交付ヲ受ケタルトキハ調査期日ノ十日前迄ニ調査員ニ所要數ヲ交付スベシ

第十三條 市町村長ハ別表様式第一號ニ依ル調査票受拂簿ヲ作成シ其ノ受拂ヲ明ニスベシ

第十四條 調査員調査票用紙ノ交付ヲ受ケタルトキハ調査期日ノ前日迄ニ雇傭主ニ之ヲ配付シ

調査ノ趣旨及記入方法ヲ懇示スベシ

第十五條 調査員前條ノ配付ヲ爲スニ當リテハ調査票用紙(正票及副票)ニ其ノ擔當區域毎ニ交付番號ヲ、別表様式第一號ノ二ニ依ル調査票交付控書(以下交付控書ト稱ス)ニ當該交付番號、交付月日、就業場所在地及雇傭主氏名ヲ夫々記入スベシ

第十六條 市町村長規則第五條第二項ノ規定ニ依リ調査票用紙ノ交付ノ申出ヲ受ケタルトキハ直ニ擔當調査員ヲシテ之ヲ交付セシムベシ

#### 第五章 調査票ノ蒐集、検査及提出

第十七條 調査員ハ報告期限迄ニ擔當區域内ノ雇傭主ニ就テ調査票(正票及副票)ヲ蒐集スベシ

第十八條 調査員調査票(正票及副票)ノ蒐集ヲ爲スニ當リテハ之ヲ検査シ其ノ記入ニ付脱漏又ハ誤謬アリト認メタルトキハ雇傭主ヲシテ補正セシムベシ

調査員調査票(正票及副票)ヲ蒐集シタルトキハ交付控書ニ受領月日ヲ記入スベシ

第十九條 調査員前條ノ手續ヲ終リタルトキハ調査票(正票及副票)ニ検印シ正票副票別ニ交付

番號順ニ整理取纏ノ上交付控書ト共ニ夫々別表様式第二號ノ一ニ依ル送致目錄ヲ附シ直ニ市町村長ニ提出スベシ

第二十條 市町村長調査票(正票及副票)ノ提出ヲ爲スニ當リテハ之ヲ正票副票別ニ整理取纏ノ上夫々別表様式第二號ノ二ニ依ル送致目錄ヲ附スベシ

市町村長ハ交付控書ヲ次回調査期日迄保管スベシ

第二十一條 國民職業指導所長調査票(正票及副票)ヲ受理シタルトキハ之ニ別表産業分類表及勞務動員産業分類表ニ基キ産業大分類名及産業中分類名並ニ勞務動員産業種別名ヲ記入スベシ

第二十二條 國民職業指導所長調査票(正票)ノ提出ヲ爲スニ當リテハ之ヲ整理取纏ノ上別表様式第一號ノ三ニ依ル送致目錄ヲ附スベシ

第二十三條 國民職業指導所長ハ調査票(副票)ヲ次回調査票ヲ受理スル迄保管スベシ

第二十四條 地方長官調査票ヲ受理シタルトキハ別表様式第三號乃至第七號ニ依リ國民職業指導所長管轄區域別ニ集計スベシ

第二十五條 地方長官ハ國民職業指導所管轄區域別集計ヲ總括集計ノ上夫々左ノ期限内ニ之ヲ

厚生大臣ニ報告スペシ

一 別表様式第三號ノ總括表

二 別表様式第四號及第五號ノ總括表

三 別表様式第六號及第七號ノ總括表

第二十六條 地方長官ハ調査票ヲ左ノ順

ノルマ  
シ

國民城業指掌所長管轄區域則

國見前美也達月三日

二  
學海彙編

三 產業中分類別

第六章 補則

第二十七條 本規程中町村又ハ町村長ニ關スル規定ハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ町村ニ

準石へキモハ交ハ畠村長二道不八之二

梯式第一號

勞務監查票受排簿

調查員氏名 調查票用紙交付 調查票受理

THE JOURNAL OF CLIMATE

備考 調査票用紙及調査票ハ正、副二通ヲ以テ一部トスルコト  
第一回、二

勞務動態調查票交付控書  
（勞務動態調查員（氏名印）昭和年月分 調查管當區域）

1 調査票	2 交付月日	3 就業場所在地	4 獲得主氏名	5 受領月日	備考
-------	--------	----------	---------	--------	----

21  
1  
2

- 1 -

A HISTORY OF THE AMERICAN PEOPLE

備考  
調査票交付番號ハ各調査員毎ニ一號ヨリ起スコト  
1乃至4欄ハ調査票用紙交付ノ際ニ於テ、5欄ハ調査票蒐集ノ際ニ於テ記入スルコト  
調査票用紙交付後轉住等ニ依リ蒐集不能ノモノハ其ノ旨備考欄ニ記入スルコト

査票用紙交付後轉住等ニ依リ蒐集不能ノモノハ其ノ旨備考欄ニ記入スルコト

## 様式第二號ノ一

労務動態調査票正票(副票、交付控書)送致目錄

昭和年月分

擔當區域名	送致枚數	摘要
右提出候也	右提出候也	右提出候也

市區町村長 昭和年月日

労務動態調査員 氏 名印

調査員數	送致枚數	摘要	要
右提出候也	右提出候也	右提出候也	右提出候也

## 様式第二號ノ二

労務動態調査票正票(副票)送致目錄

昭和年月分

國民職業指導所長 殿 市區町村長 氏 名印

備考 一 各調査員ヨリ提出アリタル調査票ヲ其ノ送致目錄ヲ附シタル儘調査票正票及調査票副票毎ニコト

一 括シ各別ニ送致目錄ヲ添附スルコト  
一 報告期限ノ變更又ハ延長ニ因リ提出ノ遲ルモノニ付テハ其ノ旨摘要欄ニ記入スルコト

## 様式第二號ノ三

労務動態調査票正票送致目錄

管轄區域内ノ市區町村名	送致枚數	摘要	月分
計			

右提出候也

昭和年月日

國民職業指導所長 氏

名印

府縣知事

殿

備考 一 各市區町村長ヨリ提出アリタル調査票正票ヲ其ノ送致目錄ヲ附シタル儘送致目錄ヲ添附スルコト  
一 管轄區域内ノ市町村名欄ニハ當該國民職業指導所管轄區域内ノ市町村名全部ヲ記入スルコト  
一 報告期限ノ變更又ハ延長ニ因リ提出ノ遲ルモノニ付テハ其ノ旨摘要欄ニ記入スルコト  
(様式第三號乃至第七號及別表產業分類表並勞務動員產業分類表略)